



漫 録



道路大會の開催に就て

路 政 僧

○ 道路改良會本年度事業の一つである道路大會は、別途公告されてゐるやうに十月廿五、六日の二日間、路政上重視すべきゴー・ストップ問題の中心地、大阪市の中央公會堂で開催されることゝ爲つた。

自動車が発達した今日此頃、今更道路の改良を宣傳しなくとも民衆は道路改良の効果位は知つてゐる。夫れに大會を開催するのは時代遅れの感がするであらう。成る程、道

路を改良することに依つて國民經濟は發展する。従つて夫れを策することは當然である、併し此當然視されてゐることが實際はなかく行はれてゐない、其の原因は奈邊にあるのであらうか、之を考察すると時代遅れぢやと言つて道路大會の開催を貶すだけの勇氣は無くなる。

是れは四五年前の話だが、或る大臣が、此頃道路が随分立派に改良されて來て、何處を通つて見ても舗装がしてある、此上に改良することは不必要ぢやないか、と言つたと

やら言はれてゐるが、夫れは東京市内道路を自動車で通行しての感想で、此見解に依つて全國道路を律することは出来ない、或る大臣は、餘り道路に金を投ずるときは英國の二の舞を演ずると言つた想だが、省營自動車を計畫してみると、大型自動車の通れない道路ばかりで前言の認識不足を取消したとやら傳へられてゐる、此様な譯で國家の重要政治に關係する連中でも、今言つたやうな錯誤がある、で一般民衆に道路の經濟上の効果を自覺して貰ふのも遅くはあるまい、夫ればかりではない、民衆の路政當局に對する要求を聞くことも亦肝要事である、是等双面的の要求を滿たし更に近時出來上つた新式道路を見て貰つて吾人が年來主張して來たつた路政の批判を受けたいのである。

○
民衆から路政當局への要求は所謂建議事項として提出せらるゝ譯である、我國路政を改革した道路法が施行され既に十有五年を経過してゐて、立法當時の世想は一大變革を來たしてゐる。其の一例を擧げて見ても、道路法に於ては

國內幹線交通路に當る國道も矢張り地方廳に於て築造經營することを原則としたのに、自動車交通の發達は到底右の原則に依ることを許さなくなつて、國道の實質上の見地から矢張り國家が之を經營することを要求するに至つてゐる如き顯著な事例であらう。政府も此事情に鑑みて自ら國道工事を直轄するに至つたが、尙右の原則に拘泥して總ての國道工事を直轄施行しやうとはしない。纔に五箇年計畫とやら言ふものを樹て、改良箇所を制限せむととしてゐる。果たして是等の考察が社會の要求に適應するであらうか、更に其の五箇年計畫に編入された改良箇所でも夫れが適正であるか、民衆の意見を聞きたい。そして其の意見を中央なり地方の路政當局に聞かしたいのである。

農村振興と言ひ或は時局匡救と言ひ兎も角全国各地に亘つて道路改良事業が執行されてゐるが、傳へらるゝ所に依ると夫等事業は七八兩年度で打切つてしまふと云ふことである。此の如きことが地方交通乃至は地方の進展に如何に影響するかを検討し、之に對する民衆の希望を達成するこ

とに力めねばならぬであらう。更に七八兩年度に於て是等の事業を執行した地方は、費用負擔の不合理な制度に驚いたであらう。夫れは遞信省の電柱移轉や鐵道の踏切の廢止乃至は擴張に就て遞信省や鐵道省に鉅額の負擔金を徵收されたことである。即ち地方が費用を負擔して築造した道路の上に官廳の一方的行爲に依つて電柱を建設し又は鐵道を敷設しながら、道路工事の爲に之を移轉し又は廢止除却するに方つて、多額の負擔金を地方に負擔せしめむとする如きは國費地方費分擔の原則に悖る制度であつて、到底許すべき制度ではない、以上の外現行制度を改革するの急務にあるもの數知れないであらう。是等の要求を徹底せしむるには此機會を措いて他に求むることが出来ない。來會者が常に不満と考ふる所を發表されて本會所期の効果を擧げたものである。

○

次は研究事項の發表であるが、近時新式道路が各地に於て築造され、夫れより得た事務上又は技術上の體験を披露

して當路者の參考に資したいのである。蓋し假令夫等の體験は必ずしも全國一律に採用することは出来ないにしても事情を同じくする地方に於には其の體験を參酌して路政を執行することは非常な利益であるからである。即ち來會者が得意とする體験を他に傳へられて路政の智識を啓發せしめむとするにある。此機に於て大に氣焔を擧げて貰ひたいものである。

研究事項の發表が終了してから米國大使館が特に本會の爲に提供された活動寫眞を映寫する。我國に於ける近代道路の大勢は次の日に行はるゝ視察に依つて來會者の眼に寫すことが出来るが、米大陸に於ける道路乃至は其工事施行の狀況を了知して我國の夫れと比較攻究することは頗る必要なことである。故に一時的享樂の爲にする活動寫眞ではない。之が果たして何物を暗示するかは、當日の映畫に依つて判斷されたい、夫れから次は縣大阪府知事と關大阪市長との合同晚餐會に臨むのであつて、席上如何なる趣興があるかドーかは記者の知るところではないが、大阪府市兩

當局が本會の爲に多大の援助を與へられたことに對し深甚の謝意を表する。

○ 次の方は實地視察を行ふのであるが、多數來會者を同一地點に案内することは頗る困難であると同時に又一面人に依つては無用事を繰返すことゝ爲るから、來會者の希望に隨つて視察を自由ならしむる爲に、視察班を五班に分けて實行することゝした。

第一班は兵庫方面の視察である。先づ大阪城天守閣を午前十時に出發し、本會から提供する自動車に依つて阪神國道を尼崎に出る。阪神國道は世間に知れ渡つてゐるやうに、政府が道路政策を樹立した當初に計畫されたものであつて、大正九年に起工し昭和二年に完成したもので、大阪神戸兩市間六里二十八町を幅員十二間半乃至十五間に改良したものである。來會者が此處を通過されて直ぐ頭に感ぜらるゝことは、大阪都心部即ち野田町から淀川を渡るまでは幅員十二間半に築造され、夫れより郊外が十五間半に築造さ

れてゐることであらう。夫れを爲さしめたのは澤山の理由が伏在してゐる。今は其の理由を説明することを避けるが、道路築造の如き固定的事業を執行する場合に方つて、近視眼的に事業を策するときには、いつまでも其の醜狀を残して交通を阻むものであることを暗示するであらう。夫れから此國道の中央には軌道が敷設されてゐる。築造當初は軌道を敷設せしむべきか否かに就ては、議論があつたそうだ。併し敷設せしめないとしても、いつかの内閣は折角出來上つた道路に軌道の敷設を特許するであらう。夫れならば軌道の相當幅員を會社に負擔せしめて今の内に敷設せしむるのが賢明だと言ふので敷設せしめたのだ想である。今此處を旅して軌道を敷設したが爲に道路交通の受くる不利益を痛感する人もあつて、近代道路に於ける併用軌道の可否を攻究さるゝ材料を提供するであらう。途中にある左門殿川橋は大阪兵庫の兩府縣界にあるもの、之を境にして兩府縣の國道管理の狀況を篤と視察して貰ひたい。

尼崎から阪神國道を捨て、尼竈自動車専用道路に出るの

である。此専用道路は當初地方鐵道の免許を受けて敷設したものを、自動車交通の發達に稽へて自動車専用道路に鞍替へしたものである。延長約十軒幅員六米であつて、我國最初の舗裝自動車道の一つである。六甲山上の交通機關、六甲ドライブウエーや六甲ケーブル乃至はロープウエーは來會者を喜ばすことであらう。下山して神戸市長が執行した阪神國道の一部や、阪神電鐵の地下線路も所謂土木技術家としては見逃してはならぬ新式工事の一つであらう。神戸から西して神明國道に依つて明石に出るのである。神明國道、夫れは工事費五百七十四萬千圓を以て兵庫縣が大正十一年から昭和八年に亘つて神戸明石間二里二十四町を幅員七間半乃至九間に築造したものである。新式道路であつて途中舞子公園附近のものは、公園地帯内を通過する關係上特殊の築造法を採つてゐるところは、多大の參考資料を提供することであらう。唯だ神明國道も神戸市内に屬するものは未改良のまゝ放任されてゐることが、折角築造された新式國道に於ける交通を阻害してゐることが判るであら

う。明石公園で視察は終了するのであるが、明石より以西姫路間は、政府直轄の下に改良工事を執行しつゝある。時間之餘裕がつけば政府事業の御手並を視察さるゝのも一策であらう。

第二班は京阪津方面の視察である。大阪の中央公會堂を午前九時三十分出發、矢張り本會提供の自動車で京阪國道に出るのである。京阪國道は昭和二年から八年に亘つて大阪京都兩府が、工事費六百八十萬二千圓を投じ、京都大阪間九里二十二町を幅員五間乃至十五間に築造したものである。大阪府所屬のものは淀川堤防を道路に利用した勢もあるが、幅員五間乃至六七間で狭きの感が起るであらう。途中にある八幡の悪水路の橋が大坂京都兩府の界であるが、之を中心にして東西兩府の執つた道路計畫乃至は築造方法の優劣を判斷して貰ひたいものだ。京都市内では無軌條電車を視察する筈である。京都市域の擴張に伴つて、市は新市域にも何等かの交通機關を設けなければならぬ。然るに餘り人口の多くもない地方に固定した軌條を敷設して軌道

を經營するのは考へものだと言ふので、四條大宮、西大宮四條間千五百五十米の間、道路幅員を二十一米に擴張し、そこに無軌條式電車即ち單低床自動車型四輪車二輛を運轉することにしたのである。工事費は二十五萬圓を要したそろだが、相當の成績を擧げてゐるが、此新しい試を視察さるのも何かの役に立つであらう。都ホテルでは齋藤京都府知事と大森京都市長の招待會が開かれる筈である。

夫れから京津國道に出るのである。京都大津間二里十一町を工事費二百二十二萬九千圓で幅員六間乃至八間八分に改築した。夫れも最近の昭和六年から八年へかけて出來上つたものである。之は當初京都と大津の兩都市の都市計畫事業として一部は京都市長、一部は滋賀縣知事が執行してゐたのを。政府が直轄國道工事として其の一部を執行した爲に、起業主體が多數に岐れてゐるが道路自體に夫れが表はれてゐるか下りかを十分研究し、更に王朝時代から徳川時代にかけて此處を旅した人の詠んだ多くの詩歌を頭に浮べて新道路を視察して貰ひたい。

大津市内道路の悪いところを新國道と比較して監察されつゝ石山寺に參詣するのである。石山からは汽船の便をかつて琵琶湖上の人と爲つて洗堰を視察するのであるが、道路が悪いから態々汽船に乗るのではない。矢張り石山寺から宇治川ライン一帯を風光地として、天下に紹介する爲には、如何なる路線を選んで如何なる構造の道路を築造すべきかを考へるには、湖上からの風光を斟酌するの必要があるからである。之を考案して貰ふことも、汽船の中で伊藤知事が歓迎された厚意に對するお禮ばかりではない。矢張り同じ風光地に道路を築造せむとする人々に何等かの資料を提供するであらう。

第三班は大坂附近を視察せむとするものである。午前九時天守閣に集合して、時間の都合がつけば大坂市島土木部長の案内で天守閣を視察する筈である。夫れから本會提供の自動車で最近開業した大坂市營地下鐵道を視察する。之は餘り道路に縁がないやうに考へらるゝが、地下鐵道の經濟的築造を策する爲には矢張り公道地下に敷設するを得策

とする。で地下鐵の敷設と道路とは密接の關係を伴ふ。其の出入口設置の問題は勿論のこと、道路の掘鑿を始めその後始末等随分澤山な問題を包含してゐる。是等の事柄は一般土木を研究する人々にも多大の參考資料を提供する。

夫れから大阪府が最近改修した府縣道大阪池田線と、大阪箕面線とを視察して箕面公園で縣大阪府知事の歡迎會に列席するのであるが、紅葉の名所として知られた箕面公園は其の自然美を來會者一同に振り蒔くであらう。夫れよりか見せたいものは大阪府が遊覽地道路として計畫した右の二府縣道の改築である。物質的慾望を過分に持つ大阪人間の計畫した風致道路、來會者の眼にはどう反映するであらうか。

第四班は和歌山方面を視察せむとするのであるが、名所舊蹟を遊覽するのが、本旅行の目的でないことは勿論である。で午前九時に中央公會堂を發し、本會提供の自動車で最近改修された阿部野街道を視察し、大和川に出て夫れから昭和六年度から政府が執行してゐる十六號國道の改良工

事を視察するのである。

阿部野街道は法的に言へば府縣道阿部野塚線である。即ち大阪市住吉區阿部野筋六丁目から堺市向陽町に至る六百七十七米を、失業救済や都市計畫と言ふ名の下に昭和二年十二月から六年四月にかけて工事費二百九十九萬千圓を投じて幅員二十三米六三に改良したもの、政府直轄の事業は、大阪府改築責任區間の終點を起點として、昭和六七兩年度で岸和田に達すべく工事費約二百七十九萬六千圓を以て延長七千八百八米を幅員二十三米六乃至二十七米三七に改良し、八年度に於ては、之を繼續して工事費百四十萬圓で延長四千八百七十米を幅員十六米に改良せむとし、目下工事中である。

阿部野街道は大阪市の放射道路としては立派なものだ。併し其の途中に鐵道には之も亦立派過ぎる程の平面交叉がある。此處を通る誰もが是位に立派な道路を築造するのなら何とか平面交叉を改良したらナ〜と嘆するのであるが、來會者も矢張り同感であらうが、此道路を過ぎて直ぐ政府

直轄の道路に移るのかと早断すると間違であつて、堺市内の都市計畫道路に依らなければならぬが、併し夫れは唯だ計畫があるだけで折角築造された阿部野街道も尻詰りの状を呈してゐる。夫ればかりではない、政府の改良した道路に達するまでには大阪府が改築すべく責任附けられてゐる部分には道路がないと言ふ有様である。折角政府が六年度から着手した國道工事も、道路としては完成してゐるが、南海鐵道との平面交叉の問題や阪堺電車の敷設が遅れた爲に道路の供用はまだ開始されてゐない。六年度と七年度とに政府が投じた約二百八十萬圓の大金は詰り活用されない有様である。彼是考へると矢張り國道は總てを政府直轄の下で管理しなければ不經濟であるばかりでなく、交通の圓滿を期することが出来ないことを物語るであらう。筆者はせめて道路大會までに供用を開始して、來會者が成る程政府の工事ぢやと感心さるゝやうにやつて貰ひたいことを切望する。

濱寺から先き和歌山までは、國道の路線はあるが、高野

詣が盛であつた時代の紀州街道で、來會者を自動車で送るだけの道路がない。已むなく阪和電車か南海電車の御厄介にならねばならぬのは頗る遺憾であるが、已むを得ない。和歌山に着いて萬波樓で清水和歌山縣知事の招待がある。夫れから舊和歌の浦や紀三井寺を視察する。そのためには道路の厄介になるのであるが、和歌山の道路が來會者に如何なる感想を起さしむるかは、長官、殊に前内務省道路課長であつた清水良策氏に敬意を表して、此處で言はない方が可いであらう。

第五班は奈良方面を視察するもの、矢張り中央公會堂に集合して、午前九時三十分に汽車の厄介になる。奈良と大阪とが經濟上は勿論のこと有ゆる點に於て緊密の關係を有してゐるに不拘、此兩都市を連絡するに近代的道路のないことは、道路大會を開催する一つの理由にも數へ得らるゝ夫れは兎も角、汽車の中で最近土木界に八ヶ間敷言ひ囃されてゐる、例の龜ノ瀬の山江を視察するのも強ち無駄ではない。此處で事新らしく言ふまでもなく、其の山江は六年

の十一月下旬から七年二月に亘つて起つたものであつて、其の箇所は大坂府中河内郡堅土村宇峠であつて、夫れは大和川右岸雁多尾山の南東山麓約十萬坪の地帯である。何でも安山岩と集塊熔岩との境界部が粘土化し、尙安山岩中に南北に走つてゐる節理と相俟て地江を見るに至つたものと言はれてゐる。之を放任しておけば上流の奈良縣が貯水池と爲るので、内務省が委託を受けて地江の回復と防止との爲に工事を施行してゐる。一度奈良に遊んだ人は奈良遊覽を見合して地江の現場を視察するのも無益ではなからう。

奈良では舊都を偲ばせる名所舊蹟を視察する豫定であるが、春日山の裏山に於けるドライブウエーの視察は吾々の見逃すことの出来ないものであらう。視察の足は平安城の舊蹟に向けらるゝであらうが、いづぞや國道十五號線俗稱京街道の改修を計畫したとき、天害門を取圍んで國道を附替へやうとしたら、舊蹟保存論者は舊蹟を破壊すると言つて極力之に反對した。果たして夫れが正當の主張であるかも判斷して貰ひたい。お蔭で奈良市には近代道路を一つも

見ることが出来ない有様である。舊都の視察遊覽は益盛になるであらうが奈良市現在の道路では、到底短時間に夫れを實行することは出来ない。従つて折角の史蹟も世に紹介するに不十分である。誰か此處奈良に於ける遊覽道路の計畫を建言する人があれば、奈良縣知事の招待の厚意に酬ゆる所以であらう。

視察班に對し路政上からして望むところは、大體以上に於て之を述べた。時恰も仲秋の候で、旅行のシーズンである。京阪神地方に於ける各都市は大會來會者の視察を待つてゐる。此機會を利用して同地方を觀賞すると共に我が路政の研究に盡して貰ひたい。夫れが本大會開催の目的とする所に外ならない。終りに視察班の爲に視察地の府縣知事又は市長の各位が何れも盛大な招待會を催され、本會の爲に助力し援助さるゝことは衷心より感謝するところであつて、大阪府市の主催に係る歌舞伎座の招待の如きは終會の記念として可い計畫と言ふべく、更に大阪府市に對し再び感謝の辭を呈する。